

# 部会レポート

## 再生可能エネルギー シンポジウム

7月16日午後、兵庫県民会館の県民ホールで、神戸市シルバーカレッジ 交流フェア6 シンポジウム「市民の手で広げよう再生可能エネルギーを」が開催されました。参加者260人。

グループわ 環境部会「創エネ神戸」山田通裕代表がパネリストとして参加しました。



服部祥子学長と神戸市環境局大森正明局長のごあいさつの後に、和田武先生（自然エネルギー市民の会代表）から、「再生可能エネルギーの普及と市民の役割」と題して基調講演がありました。

最初に次の5人のパネリストから8分ずつパワーポイントでの説明がありました。米田幹生氏（神戸市環境局環境貢献都市担当部長）、西田圭一氏（NPO法人たけのコム理事）、井上保子氏（非営利型株式会社宝塚すみれ発電代表取締役）、山田通裕氏（NPO法人グループわ 創エネ神戸代表）、豊田陽介氏（NPO法人気候ネットワーク主任研究員）の5人。



創エネ神戸 山田通裕

横山孝雄氏（神戸市シルバーカレッジ講師）がコーディネーターとなり、活発な意見交換が行われました。

誰が中心になって、どのように進めるのか。経済性よりも地球温暖化防止という目的優先に。次の世代に美しい地球環境を残してゆくことに、いきがいをなど。

その後に再生可能エネルギーの普及を広く市民に呼びかける市民アピールが採択されました。

会場には、台風接近の中でしたが、多くのカレッジ学生やOB、一般の方が集まり熱心に、再生可能エネルギーや市民共同発電などについての話を聞いていました。（広報 岡本 紘一）

## ファイスタペルアナ神戸に参加

7月19日午前11時から、神戸市勤労会館大ホールで開かれた「ファイスタペルアナ神戸」にボランティアとして参加しました。

ひょうごラテンコミュニティ主催で、日本各地に住

むペルー人や日本人を含む100人以上のアーティストが参加。にぎやかに楽しくアンデスの音楽やダンスを披露、ステージ前では、観客も手拍子を打ち、踊っていました。私と同じくらいの年齢と思われる男性2人と組んで、来場者にスペイン語の多くのパンフレット渡す役目でした。ほかの方は、前日の会場設営、当日の物品販売、来賓接待、出演者誘導を受け持ちました。イベント終了後テーブル、いすなどを元の位置に戻し、きれいに掃除した後、午後9時前に解散しました。長時間の活動で疲れましたが、大勢の人と出会え、とても楽しい一日でした。

（国11 菅田啓子）

## 遊んで学ぶ四季の野草

しあわせの村の自然を探そうをテーマに、9月23日（水）の午後に、グループわ 野草クラブ主催・振興協会の協力

で、野外活動センターで野草とのふれあい教室を開催しました。



親子33名が参加され、パワーポイントによる野草についての説明や、野草すくろく・野草カルタ・ピオトープでの野草観察など、自然とのふれあいを楽しんでいました。

中でもすすきバツタ作りでは、親子で悪戦苦闘しながら頑張っていました。なお、本来はすすきの茎で作るそうですが、手に切り傷がつかないように、紙での模擬制作にしたそうです。（広報 藤田 健一）

## 2015年音文交歓会開く

2015年音文交歓会が8月7日正午からカレッジホールで開かれました。6、8、9期と11期～19期卒業グループのほか、期が混合する1グループ計13グループ・250人が参加。各グループはコスチュームにドレスアップ、混声合唱や器楽演奏で日ごろの練習成果を披露しました。「川の流れのように」、「夏の思い出」、「美しく青きドナウ」などだれでも知っている曲が流れ、体でリズムを取る人もおり、この夏の暑さを吹き飛ばしていました。ボランティア活動に励んだり、コンクールに出場するグループもあるそうです。今年で9回目。